

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2025年11月13日

上場会社名 株式会社robot home 上場取引所 東
 コード番号 1435 URL https://corp.robothome.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 古木 大咲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 安井 慎二 (TEL) 03-6447-0651
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績 (2025年1月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	10,926	37.3	309	△56.2	368	△46.5	327	△50.5
2024年12月期第3四半期	7,956	40.0	706	40.3	689	39.6	661	7.9

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 363百万円(△42.3%) 2024年12月期第3四半期 630百万円(△5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	3.65	—
2024年12月期第3四半期	7.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	16,091	9,494	59.0
2024年12月期	13,233	9,310	70.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 9,492百万円 2024年12月期 9,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2025年12月期	—	1.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	82.4	1,400	34.1	1,350	32.6	1,100	20.5	12.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期3Q	91,127,000株	2024年12月期	91,127,000株
2025年12月期3Q	1,242,900株	2024年12月期	1,242,800株
2025年12月期3Q	89,884,167株	2024年12月期3Q	89,884,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費・設備投資の改善や、雇用情勢・所得環境の改善等により、緩やかな景気回復基調が見られました。しかしながら地政学リスクや国内外の金融情勢・海外の政策動向により、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、AI・IoT等の先端技術を活用したDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進、及びそれら技術を活用した、デジタル資産管理プラットフォーム「robot home」を継続的にアップデート。不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給から、賃貸管理の受託、売却・再投資を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルを生み出し、安定的にストック収益を拡大してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高109億26百万円（前年同期比37.3%増）、営業利益3億9百万円（前年同期比56.2%減）、経常利益3億68百万円（前年同期比46.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億27百万円（前年同期比50.5%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①AI・IoT事業

AI・IoT事業におきましては、デジタル資産管理プラットフォーム「robot home」の継続的な開発・運用、及びサービスを提供。入居者、オーナー、メンテナンス会社、賃貸仲介会社、賃貸管理会社の全てのプレーヤーをプラットフォーム上で繋ぎ、賃貸経営の自動化を目指してまいります。さらに、これまで蓄積された「リアル×テクノロジー」の知見をDX領域へと展開し、不動産業界のみならず、他業界に対する「DX総合支援サービス」を提供しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5億6百万円（前年同期比9.4%増）、営業利益は2億9百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

②robot home事業

robot home事業におきましては、AI・IoT事業で構築したデジタル資産管理プラットフォーム「robot home」を活用し、不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給（フロー領域）から、賃貸管理の受託（ストック領域）、売却・再投資（フロー領域）を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルの構築に努めてまいりました。

ストック領域におきましては、AI・IoTなどのコアテクノロジーを活用した賃貸管理RPAシステム「robot home for PM」の導入により、業務効率化されたPM業務を実施し、安定したストック収益を拡大してまいりました。また、メンテナンス領域への事業領域拡大、及び自社保証のシェア拡大等による持続的な収益基盤の拡大に注力いたしました。

フロー領域におきましては、購入サポートのみならず、資産形成サポート、売却サポートの更なる充実により、アプリ内での取引を活性化。プラットフォーム内の流通を促進することで、今後の収益基盤の更なる安定化に向けた取り組みに注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は104億39百万円（前年同期比39.0%増）、営業利益は14億72百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間における業績には、大型棚卸資産の売却による特別要因の影響（売上高11億37百万円、営業利益6億59百万円）が含まれております。一過性の特別要因による影響を除いた正常値ベースでは、売上高は前年同期比63.8%増、営業利益は前年同期比34.0%増と堅調に推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて28億58百万円増加し、160億91百万円となりました。これは主に、販売用不動産が22億58百万円、仕掛販売用不動産が9億31百万円、有形固定資産が6億21百万円増加した一方で、現金及び預金が14億21百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて26億74百万円増加し、65億97百万円となりました。これは主に、買掛金が7億15百万円、一年以内返済長期借入金が18億77百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億83百万円増加し、94億94百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3億27百万円を計上した一方で、剰余金の配当1億79百万円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年2月14日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,501,814	5,080,088
売掛金	412,299	590,297
契約資産	—	290,614
商品及び製品	13,446	14,907
販売用不動産	2,571,583	4,830,505
仕掛販売用不動産	164,767	1,096,552
貯蔵品	5,482	5,682
その他	249,830	287,943
貸倒引当金	△95,585	△120,326
流動資産合計	9,823,637	12,076,265
固定資産		
有形固定資産	1,584,477	2,206,401
無形固定資産		
のれん	168,155	158,454
顧客関連資産	64,498	60,467
その他	163,069	145,093
無形固定資産合計	395,723	364,014
投資その他の資産		
投資有価証券	1,038,034	1,044,737
繰延税金資産	187,252	179,823
その他	203,962	219,970
投資その他の資産合計	1,429,249	1,444,531
固定資産合計	3,409,450	4,014,947
資産合計	13,233,088	16,091,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	467,170	1,182,521
短期借入金	500,040	351,000
1年内返済予定の長期借入金	62,676	1,939,772
未払法人税等	17,798	13,825
預り金	1,246,077	1,300,971
賞与引当金	—	65,551
債務保証損失引当金	337,667	302,863
資産除去債務	—	9,570
その他	388,612	453,154
流動負債合計	3,020,042	5,619,229
固定負債		
長期借入金	758,659	832,678
資産除去債務	102,907	108,381
繰延税金負債	18,333	16,959
その他	23,032	19,947
固定負債合計	902,931	977,966
負債合計	3,922,974	6,597,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,460,469	7,460,469
利益剰余金	2,128,305	2,276,166
自己株式	△299,986	△300,001
株主資本合計	9,298,789	9,446,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,955	43,511
為替換算調整勘定	5,214	2,438
その他の包括利益累計額合計	10,169	45,950
非支配株主持分	1,155	1,431
純資産合計	9,310,114	9,494,017
負債純資産合計	13,233,088	16,091,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
売上高	7,956,085	10,926,909
売上原価	4,683,255	7,841,245
売上総利益	3,272,830	3,085,663
販売費及び一般管理費	2,565,990	2,776,321
営業利益	706,840	309,342
営業外収益		
受取利息	779	6,932
受取配当金	6,880	7,683
投資事業組合運用益	—	139,080
その他	1,052	1,561
営業外収益合計	8,713	155,258
営業外費用		
支払利息	13,254	60,048
支払保証料	1,019	1,884
投資事業組合運用損	4,138	—
支払手数料	6,459	32,720
その他	1,039	968
営業外費用合計	25,911	95,622
経常利益	689,641	368,978
特別利益		
資産除去債務戻入益	7,344	—
特別利益合計	7,344	—
特別損失		
固定資産除却損	—	60
投資有価証券評価損	26,710	18,643
事業譲渡損	—	15,271
特別損失合計	26,710	33,974
税金等調整前四半期純利益	670,276	335,003
法人税等	8,802	7,098
四半期純利益	661,473	327,905
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56	275
親会社株主に帰属する四半期純利益	661,530	327,629

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
四半期純利益	661,473	327,905
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,453	38,556
為替換算調整勘定	23	△2,775
その他の包括利益合計	△31,430	35,781
四半期包括利益	630,043	363,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,099	363,410
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	264,601	5,390,544	5,655,145	—	5,655,145	—	5,655,145
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	179,773	1,611,006	1,790,780	—	1,790,780	—	1,790,780
顧客との契約から生 じる収益	444,374	7,001,551	7,445,926	—	7,445,926	—	7,445,926
その他の収益	—	510,159	510,159	—	510,159	—	510,159
外部顧客への 売上高	444,374	7,511,710	7,956,085	—	7,956,085	—	7,956,085
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	18,639	38	18,677	—	18,677	△18,677	—
計	463,013	7,511,748	7,974,762	—	7,974,762	△18,677	7,956,085
セグメント利益 又は損失(△)	164,400	1,758,193	1,922,593	△1,077	1,921,516	△1,214,676	706,840

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	336,966	8,164,099	8,501,065	—	8,501,065	—	8,501,065
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	150,270	1,713,507	1,863,777	—	1,863,777	—	1,863,777
顧客との契約から生じ る収益	487,236	9,877,606	10,364,842	—	10,364,842	—	10,364,842
その他の収益	—	562,066	562,066	—	562,066	—	562,066
外部顧客への 売上高	487,236	10,439,672	10,926,909	—	10,926,909	—	10,926,909
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	19,374	—	19,374	—	19,374	△19,374	—
計	506,610	10,439,672	10,946,283	—	10,946,283	△19,374	10,926,909
セグメント利益 又は損失(△)	209,331	1,472,339	1,681,671	△1,738	1,679,932	△1,370,590	309,342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	153,992千円	129,404千円
のれんの償却額	9,701千円	9,701千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。